

屋外における催し時の注意事項

次の事項を守り、安心・安全なお祭りにしましょう！

～ガソリンなどの燃料の取扱い～



ガソリンは高い引火性と爆発力があり非常に危険です。

- 携行缶の保管は火気のない換気のよい安全な場所で行う。
- エア調整ネジを緩め、缶内の圧力を下げてからキャップを開ける。
- 給油は、換気の良い場所でエンジンを停止してから行う。
- 給油中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけない。
- 給油ノズルを給油口に当てるなどして静電気が発生しないように注意する。

～L Pガス容器の取扱い～



- 火気から2m以上離し、転倒防止を行う。
- 風通し、換気の良い場所で、災害時に容器の搬出がしやすい場所に設置する。
- 常に温度40℃以下に保つようにする。
(火気等からの離隔距離を充分にとり、日光の直射を避ける。)
- 火気からの十分な離隔距離が確保できない場合や、やむを得ず容器が温度40℃を超えるおそれのある場所に設置する際には、不燃材シート等で容器を覆う。

火の用心

＝ 雲南消防本部 ＝



消火器を準備しましょう!

消火器は火災が発生した際に、最も有効な初期消火器具です。
紙類や木材が燃える普通火災はもちろん、油、ガス、電気類の火災にも適しています。
安心・安全なお祭りをするために、消火器の設置を推奨します。
また、万が一火災が発生した際に、被害を最小限にいとどめるため、正しい取扱方法を習得しておきましょう。

消火器の使い方

火災が発生したら、まずは大きな声で周りにいる人に知らせましょう。



① 消火器を火元まで運び安全栓を上に抜く



② ノズルを取り火元に向ける



③ レバーを強く握り放射する

火の用心

＝ 雲南消防本部 ＝